

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。



さいたま市立 **岩槻中学校**



学校教育目標

「心豊かで優しい生徒・自ら学ぶ賢い生徒・心身共にたくましい生徒」

本校スローガン『繋げる・広げる・究める』

【自ら考え、表現し、新しい価値を創造できる生徒の育成】



■所在地：さいたま市仲町 1-14-35 ■電話：048-756-0254

■FAX：048-758-7483

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅から徒歩 16 分

01 「ICT 教育」「アクティブ・ラーニング」による探求型の学びの推進



本校では、さいたま市「アクティブ・ラーニング」型授業における、6つの学習プロセス（つかむ、見通す、自力解決、協働解決、練り上げ、メタ認知）による授業を展開します。また、1人に1台配付されたタブレット型 PC を活用した効果的な学習指導を研究してまいります。



02 SDGs を取り入れた授業実践



本校では、総合的な学習の時間において、SDGs 教育を実施します。生徒一人ひとりが「持続可能な世界の実現」のために、様々な問題を自分の問題として捉え、今後何が必要なのかを考え、自分にできることを考える授業を展開しています。



03 生徒会組織を活用した SDGs への取り組み



本校では、生徒会の活動として、ペットボトルキャップを回収しプラスチックの再資源化や発展途上国へワクチンの提供などに役立つ事業に協力しています。各委員会活動においても、「達成すべき 17 の目標」を踏まえた活動を充実させてまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

> **さいたま市立 川通中学校** < < < < < < < <

学校教育目標「向学・自立・協働」

学校経営方針

「夢をもち、社会を生き抜く力を身につける生徒の育成」

○1年次「夢をみつける」

○2年次「夢をみつめる」

○3年次「夢をかなえる」



■所在地：さいたま市岩槻区長宮 4 3 5 番地

■電話：048-799-1061

■FAX：048-799-0436

■交通：東武アーバンパークライン 東岩槻駅 徒歩 36 分

01 地域に目を向け、地域に貢献する意識を育成する



本校では、「総合的な学習の時間」において、「地域貢献」を大きなテーマに掲げています。1年生では、フィールドワークを通して地域の特徴を捉えなおし、理解を深めます。2年生では、未来くるワークの活動を通して、実際に地域で働く方々から地域貢献の視点を学びます。3年生では、これまでの学習をもとに、「自分にできる地域貢献」について考えます。修学旅行を通して、京都の地域づくりや特色を学び、自分たちの地域と比較しながら考えを深めていきます。学習を通し、生徒の地域貢献に対する意識を高めることで、地域の文化振興に貢献していきたいと考えます。



02 生徒の交通安全意識の向上のために



本校では、全生徒が自転車で通学しています。自転車免許講習や交通安全指導を全体で行うとともに、教員やPTAの方々が登校時や下校時に立哨指導に立ち、継続的に声掛けを行うことで交通安全の意識を高めています。



03 SDGsへの理解を深め、意識を高めるために



図書委員会では、新聞記事から時事問題やその時々話題になっている出来事を探し、掲示することで広く社会に対する興味関心を喚起する取組を行っています。その一環として、廊下にSDGsコーナーを設けて啓発を行っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立城南中学校

学校教育目標

希望と夢をはぐくむ美と活力の学校



<目指す生徒像>

- ・自ら学び、考え、主体性をもって行動する生徒
- ・多様性を理解し、他者と協働していく生徒
- ・適切な生活習慣を確立し、心身の健康の増進と体力向上に取り組む生徒

■所在地：さいたま市岩槻区笹久保 577 ■電話：048-798-0007 ■FAX：048-798-8725
■交通：浦和駅美園駅より岩槻駅行バス 20 分

01 自分たちの地域から、未来を切り開く



地域の文化や自然を通じて、未来を見据える

「総合的な学習の時間」で、岩槻の岩槻の農業や自然環境に焦点を当て、お互いの意見を伝え合う学習を通して、改めてこれからの地域の在り方に自分たちがどのように関わっていくかを考える。また、本校の特色ある教育「花笑み教育」では、世界・仲間・地域・自然とつながり、地域共生を目指し、地域や社会に関わっていく。



02 未来のために、今できることから実践する



本校のシンボルを生かした炭素サイクルの実践

本校のシンボルともいえる 20 本以上の大木、「城南桜」。花びら清掃プロジェクトや落ち葉掃きプロジェクトで集めた花びらや花柄、落ち葉を集めて腐葉土や堆肥をつくり、地域の農家でおいしい野菜づくりに活用してもらう。そしてその野菜を学校給食で消費することを通じて、炭素の循環サイクルについて学ぶとともに、地産地消の重要性を学び、循環型社会を考える。



03 未来を豊かに、生徒主体で動き出す



エコプロジェクトへの挑戦

生徒会本部役員が探し出した「アイシティ ECO プロジェクト」は取り組みから立案まで生徒会本部が主体となり、全市に先駆けて取り組みを行った。資源の再利用の他、障害のある方の自立・就労支援、日本アイバンク協会への寄付を行っている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

慈恩寺中学校



学校教育目標 ◎「自主・自立を目指す生徒」

○「差別を許さない生徒」

○「進んで学習する生徒」

○「心身ともに健康な生徒」

スローガン 『努力夢現』 キーワード『挑戦と煌』



■所在地：さいたま市岩槻区裏慈恩寺 505 ■電話：048-794-1141 ■FAX：048-795-0374
 ■交通：東武アーバンパークライン東岩槻駅北口下車 コミュニティバス慈恩寺観音行き 10 分
 慈恩寺観音下車 徒歩 15 分 または 岩槻駅下車 朝日バス国立東埼玉病院行き 20 分 慈恩寺
 観音入口下車 徒歩 10 分

01 地域と連携した防災教育



本校では、地域自治会の協力のもと、1 学年の総合的な学習の時間に

において、地域の防災拠点となる公民館や自治会館、防災倉庫等を訪問・見学し、自治会長や防災担当の方から説明いただいた内容について、新聞形式にまとめて発表する活動を行っています。災害時には、中学生も地域を支える力として「自助・共助」を実践できるよう取り組んでいます。



02 外部機関と連携した自転車安全教室



本校では、学区がとても広いため、全生徒の約 90% に自転車登校を許可しています。また、公共交通機関のアクセスも良くないため、校外行事や部活動も

含めれば、全ての生徒に自転車を利用する機会があります。そのため、外部機関（いわつき自動車学校、岩槻警察署）のご協力をいただき、講義と実技で自転車の安全な乗り方を学ぶ機会を、1 年生の 5 月に設けています。



03 ジェンダーフリーの取組



本校では、誰もが安心して学校生活を送ることを目指し、ジェンダーフリー化に取り組んでいます。各教科の指導において、男女に分けた指導を必要最小限にとどめるなど、職員

研修を通してジェンダーフリーの実現を目指しています。また、女子生徒の制服をスラックスとスカートの両方から選択できるようにするとともに、これまで男女別々だったジャージのデザインを男女共通に変更しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



学校教育目標

「思いやりのある生徒 真剣に学ぶ生徒 健康な生徒」
～自律・進取・友愛の気概溢れる我らが“学び舎”チーム城北の創造～

■所在地：さいたま市岩槻区本宿 392-1

■電話：048-757-1582

■FAX：048-758-7494

■交通：岩槻駅より徒歩約35分

01 食育 ～残菜を減らす工夫～



家庭科の「献立を立てよう」の授業を通して、「食品ロス」について学習します。学校栄養職員に、給食の残菜が廃棄されてしまうことなど、本校での残菜の現実についても学びます。

日本は食料の多くを輸入に頼りながらも、その多くを破棄してしまっている現状から、給食を通して食料を大切にする心を育成しています。取り組み後、意識も高まり、残菜が減りました。今年度も引き続き進めていきます。

02 環境教育 ～循環型社会形成に向けてた意識の向上～



生徒会が中心となり、ペットボトル回収活動を行っています。回収したペットボトルキャップがワクチンに変わり、人々に届けることができ、国際貢献に関わることができるということや、再利用の視点から、循環型社会形成の一員としての自覚が芽生えるという2つの面から、生徒の循環型社会についての興味・関心を深めることができます。実際に教職員も参加し、学校一丸となって取り組んでいます。

03 地域教育～自分たちの町を考える～



社会科や総合的な学習の時間において、地域についての関心・理解を深める活動を行っています。

総合的な学習の時間や社会科の学習のまとめにおいて、課外学習等での学習を踏まえて、よりよい地域を作るための実践を考えていく予定です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立
桜山中学校



校訓 『自主創造』

＜学校教育目標＞

- 学 べ
- 磨 け
- 輝 け



■所在地：さいたま市岩槻区表慈恩寺 684-1

■電話：048-794-4061

■FAX：048-795-0379

■交通：東武アーバンパークライン東岩槻駅徒歩 15 分

01 学習者中心の教育実践を核とした小規模校の学びの創造と社会貢献意識の育成。

～一人ひとりの Well-being を高める～



- (1) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境の整備
・教室前面のレイアウトを全校統一とし、生徒が授業に集中できる教室環境整備を行った。



黒板周りの掲示は「時計」のみ



黒板の両脇にある掲示物等を隠す



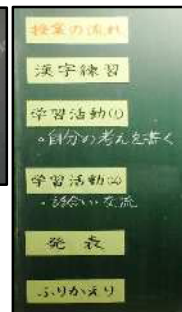
教室全体の整理・整頓

- (2) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業展開
・「生徒に対するアンケート」をもとに、「分かる、できた」と感じる
ことができる授業づくりを進めています。具体的には

- ①授業のねらい（目標）と流れの提示
- ②書く時間と聞く時間を明確に分ける
- ③教師の話は分かりやすく簡潔にする
- ④情報量の調整
- ⑤板書を分かりやすくする。
- ⑥ペア・グループワークは少人数で、手順を明確にする。



分かりやすい板書の工夫



授業の流れ

02 安心・安全で、「学びの場」にふさわしい教育



環境づくり



ことで、地域

毎年本校の生徒と地域の方が共に清掃活動「クリーン活動」を行います。ここでは、環境に目を向け、清潔であることの尊さを学び、自らできれいにするという自主性を養います。また、地域の方と共同で行うに開かれた学校づくりを目指します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
柏陽中学校



【学校教育目標】

温かい学校・喜びあふれる学校

【めざす生徒像】

- ◎主体的に活動し、知性と創造性を高める生徒
- ◎互いに認め合い、思いやりのところをもった生徒
- ◎安全に心がけ、進んで心身を鍛える生徒
- ◎話に耳を傾け、思いを丁寧に伝える生徒



■所在地：さいたま市岩槻区真福寺 4 5 4

■電話：048-798-6655

■FAX：048-798-8729

■交通：アーバンパークライン 岩槻駅より徒歩 30 分

01 生徒会活動の充実

～学校をよりよくするために～

生徒会本部と9つの委員会活動を通してSDGs 17項目に迫る取り組みを行っていきます。



☆生徒会本部：目標 12, 14

①学級委員会：目標 10, 17 ②給食委員会：目標 2 ③体育委員会：目標 3

④図書委員会：目標 4

⑤美化委員会：11, 16

⑥放送委員会：目標 9

⑦保健委員会：目標 3, 6

02 未来夢ロード 「地球ワーカー調査隊」

世界の数多くの職業の中から、SDGsとの関連の深い様々な仕事や企業の取り組みの調査を行いました。どんな仕事でも、人や社会に貢献するつながりを持ち、世界を支えています。SDGs達成年の2030年には、自分がどんな仕事に就き、どんな生き方をしているか、想像する活動です。

SDGsの項目ごとにチーム編成して調査を行い、調査内容は1人1ページにまとめました。また、学年全員の調査内容を1冊の冊子にし、各学級で発表会を行いました。将来への夢や憧れ、自分の未来を考えるきっかけになる活動となりました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
西原中学校



学校教育目標

「心の豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「強くたくましい生徒」



■所在地：さいたま市岩槻区岩槻 3 7 5 0 ■電話：048-756-1117
■FAX：048-758-7493 ■交通：岩槻駅より徒歩 15 分

01 地域に貢献する生徒の育成 ふるさとに目を向ける



R3～5年度に学校課題研究として取り組んだ「主体的に学び ふるさとを愛する 心豊かな生徒の育成」のテーマのもと、1学年では、生徒が人形博物館、岩槻藩遷喬館、岩槻郷土博物館を訪問して地域の方のお話を伺ったり、自分のテーマに沿って学習を深めたりしました。

また、R6年度からは、さいたまエンジンでの活動を通して岩槻の歴史や産業を学ぶことで、ふるさとのよさを見つめなおし、ふるさとに誇りをもち、ふるさとの発展のために貢献しようとする生徒の育成を目指します。それにより、SDGsの目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。

02 地産地消・生産消費 学校ファームの取組を通して



本校の取組として「学校ファーム」の利用を紹介します。今年度も特別支援学級と科学部の生徒が心を込めて育て上げたヨーロッパ野菜を収穫し、学校給食の食材の一部として使用することで、「地産地消」を実施し、また、「生産消費」の実現を図ります。育成した野菜はカーボロネロ、ロマネスコ、カリフラワー、カリノケールです。

自分たちで育てた野菜を使った給食の献立を実際に味わうことで、この取組も「食育」の一環としての意義が大きいと思います。こうした活動を通して、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標12「つくる責任、つかう責任」に寄与していきたいと考えています。